

# 福生市環境基本計画実行計画 **28**

## (平成 28 年度実行計画進捗状況)

### ◆福生市環境基本計画実行計画

分野別施策	P 1
第 1 節 自然の保全・再生	P 1
1 自然の水循環、多摩川の保全・再生	P 1
2 都市の自然の保全・再生	P 2
第 2 節 潤い豊かな安心できるまちの創造	P 4
1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	P 4
2 安心して歩ける道・緑のまちづくり	P 6
第 3 節 暮らし方の変革・地球システムへの適合	P 7
1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	P 7
2 地球環境問題・公害等への取り組み	P 9

計画の推進・環境まちづくりの展開	P 13
第 1 節 環境教育・学習の推進	P 13

## ◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

### 1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

### 2 実行計画の内容等

- （1）本実行計画は、福生市環境基本計画第2期中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。
- （2）平成28年度の実行計画の実施状況、進捗状況を評価し、表中に記載する。

#### 【評価基準】

実施評価		指標評価	
実施できた（100%）	A	順調に進んでいる（100%）	①
おおむね実施できた（80%）	B	ほぼ順調（80%）	②
やや実施できた（50%）	C	多少低調気味（50%）	③
未実施	D	低調	④
		評価せず（年度の数値が取れない場合）	⑤

- （3）協働事業については★を記載する。
- （4）当該年度以降継続して実施、検討、研究をするものは、「継続」とする。
- （5）当該年度決算の[ ]書きは、福生スクラム・マイナス50%協議会決算である。

### 3 推進体制

- （1）本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進捗状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。
- （2）本実行計画の進捗状況については、市のホームページにより市民に公表する。

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
1	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	①水質汚濁防止	19	下水道への油や界面活性剤、洗車等による汚染物の混入防止のため、市民・事業者への啓発を強化します。雨水枡への汚濁物質流入を防止し、水質を向上させるため、水の繋がりが意識されるような表示の設置や情報発信について検討します。	水質汚濁防止の啓発	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続	広報による周知を年2回実施する。	市内事業者に対して下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行った。	A	866,526	下水道	管渠費	下水道管理費	下水道管理事務					
2	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	②河川維持水量の確保	19	河川維持水量の確保に向けて、関係自治体との連携やあらゆる機会を捉えて、継続して関係機関に働きかけます。	河川維持水量の確保要請	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	河川維持水量の確保に向けて、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	河川維持水量の確保について、「多摩川整備促進協議会」を通じて国土交通省に要望した。	A	0					河川維持水量（羽村取水堰放流水）	4 m <sup>3</sup> /秒（H27）	4 m <sup>3</sup> /秒		⑤
3	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③湧水の保護	20	清岩院など拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護を図る保全に向けて、情報収集を行います。	湧水の情報収集	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に向けて、多摩川沿岸の8市によって構成される「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に年2回参加することにより、保全の取組について情報収集を行う。	「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に2回参加し、保全の取組についての情報収集を行った。	A	0									
4	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③湧水の保護	20	市内9か所の湧水について定期的なモニタリングを実施し、湧水地点の保護に繋がる情報を蓄積します。また湧水周辺の環境が適切に維持されるよう、管理者・地権者と連携して対策に取り組みます。	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係	★継続	法政大学山崎ゼミの学生と協働して、湧水の保全のため、湧水の水質調査を行う。春夏秋冬の代表月でそれぞれ、湧水と多摩川の水質調査を行う。実施回数は4回を予定。	春夏秋冬の代表月でそれぞれ、湧水地点6箇所と比較試料として多摩川の水質調査を行った。そのうちの湧水地点1箇所は水量減少に伴い採水が困難であったため現場の確認のみを行った。実施回数：4回	A	0				湧水地点数	9か所（H27）	9か所	9か所	②	
5	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④地下水のかん養・冠水防止	20	「総合治水」の観点から、一般宅地での雨水浸透ますの設置助成及び宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を行います。	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続	一般宅地での雨水浸透ます・浸透施設の設置助成及び、宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を実施する。28年度雨水浸透施設6件31個、貯留槽11件を目標とする。	雨水浸透ます3箇所（17個）助成額447,000円 雨水貯留槽5基 助成額104,000円 昨年度の実績を下回るも、防災計画総合治水に位置する案件でもあるので、今後も推進していく。	A	551,000	下水道	管渠費	下水道整備費	雨水管渠整備事業					
6	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④地下水のかん養・冠水防止	20	東京都環境確保条例に基づき、地下水の揚水量指導に努めます。	地下水揚水量報告事務	生活環境部	環境課	環境係	継続	東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため適正使用指導を行う。	市内16事業所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	A	0									
7	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	⑥水循環の学習促進	20	多摩川上流水再生センターの見学等により、下水道や雨水枡と河川の繋がりが、地下水保全等に関する学習機会を提供します。	水循環の学習	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続	小学生を対象に平成28年8月9日に下水道施設見学会（多摩川上流水再生センター及び小平市ふれあい下水道館）を実施する。	下水道の啓発活動として、市内の子どもを対象に下水道施設見学会を実施。 日時 8月9日 見学場所 多摩川上流水再生センター ふれあい下水道館 参加人数 子ども24名 大人8名	A	0	下水道	下水道総務費	下水道管理費	下水道事務	河川環境や水循環に関心を持ち、生活の中で配慮している市民の割合	—	36.30%		⑤

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
								部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
8	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	①水害予防対策	21	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、継続して関係機関に働きかけます。	河川防災施設の整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強の実施および生態系に配慮した工法の採用について、「多摩川整備促進協議会」を通じて国土交通省に要望した。	A	0									
9	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	②防災意識の高揚	21	市民の防災意識の高揚に向けて、防災マップ・ハザードマップの普及や広報等による平時の情報提供に努めます。	防災意識の高揚	総務部	安全安心まちづくり課	防災係		継続	実施場所：安全安心まちづくり課、総合窓口課 実施方法：窓口来庁者及び市内転入者に対し随時配布、市政出前講座の依頼に基づき配布、ホームページへの掲載等	28年度において、窓口等にて配布する防災マップ・ハザードマップの増刷（1,000部）を実施した。	A	330,000	消防費	消防費	防災対策費	災害対策事業					
10	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	③川の自然観察等の促進	21	福生水辺の楽校の学習プログラムや多摩川サポーターズ等の活動を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深めます。イベント等の参加者がより主体的に学習や保全活動などを継続できるよう働きかけます。	福生水辺の楽校、多摩川サポーターズ	生活環境部	環境課	環境係		★継続	福生水辺の楽校の学習プログラム等を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深める。福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」（12回）、「多摩川サポーターズ」（4回）で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。	多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深める体験学習を実施。雨天プログラムを用意したが、雨天中止なし。福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全12回、参加者660人。福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」全4回、参加者120人。	A	1,400,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	水生生物調査による水質判定階級	I（きれいな水）	I（きれいな水）	I（きれいな水）	①
11	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	④河川環境保全活動の推進	21	河川植生の再生を促進するため、市民による河川一斉清掃の実施を支援します。	河川一斉清掃	都市建設部	道路公園課	公園グループ		★継続	河川一斉清掃を実施 ・実施場所 多摩川中央公園沿い河川敷 ・実施日 6月5日（環境フェスティバルの一環として実施） ・方法 河川敷にあるゴミをビニル袋やトングを使用して収集 ・回数 年1回（環境フェスティバル当日に実施） ・関係先 国土交通省京浜河川事務所	・実施場所 多摩川中央公園沿い河川敷 ・実施日 6月5日（環境フェスティバルの一環として実施） ・参加者 113人 ・実施量 可燃ごみ及び不燃ごみ150kg	A	0									
12	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	④河川環境保全活動の推進	21	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行います。	カワラノギク保全活動	生活環境部	環境課	環境係		★継続	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。年4回	カワラノギクの保全・復元をめざす「カワラノギクプロジェクト」の周知及び保全活動に参加し、河川植生の再生などを支援。保全活動のボランティア募集広報とともに年4回に渡って延べ106名が活動に参加した。	A	0									
13	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	多摩川の防災、河川生態系の保全	⑤多摩川に関する学習拠点の運営	21	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理運営を行います。	川の志民館管理	生活環境部	環境課	環境係		継続	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動、自然を大切にする「まちづくり」への各種活動の展開を目的に学習拠点施設（川の志民館）の管理を行う。	川の志民館の常時集中監視及び、異常を感知した際の対応。実施状況を月単位で報告。利用者1,014人。	A	163,944	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	川の自然観察等への参加者数	584人（H26）	680人	780人	①
14	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	①樹林地等の開発抑制・保全	23	東京都景観保全条例による規制、福生市宅地開発等指導要綱による指導と合わせ、保存樹林制度の指定などにより、樹林地等の保全と開発抑制を図ります。	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	緑確保の総合的な方針（東京都）に基づき樹林地等の保全に努める。樹林地で開発が行われる場合には、福生市宅地開発等指導要綱に基づき、緑化や植樹の指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき6件の協議を行い、緑化や植樹の指導を行った。	A	0					市域に占める空から見た緑と水の割合	28.6%（H25）	現状維持		⑤

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
15	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	23	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方を検討します。	保存樹林地指定制度	生活環境部	環境課	環境係	継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定及び奨励金の交付を行い、緑を保全する。	保存樹林地等の指定及び奨励金の交付。宅地介在山林（4件・6筆・2,300㎡）、一般山林（2件・3筆・669㎡）、保存樹木（39件・174本）、保存生垣（141件・147箇所・延長2,930m）	A	3,156,637	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	保存樹林地面積	6,149㎡（H26）	現状維持	2,969㎡	③	
16	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	23	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定、生垣保存協定補助を継続します。また、生垣や保存樹林地の保全活動を所有者以外の市民が支える方を検討します。	生垣保存協定補助制度	生活環境部	環境課	環境係	継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、生垣の設置にかかる費用を補助し、緑を保全する。	生垣の設置にかかる申請なし	A	0	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	保存生垣延長	3,143m（H26）	現状維持	2,930m	③	
17	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	24	緑の基本計画に基づき、市街地の身近な公園を適正に維持管理します。また、公園ボランティア等の情報交換を促進し、公園や雑木林における生物多様性の状況の共有、公園の特性に応じた管理方法の検討、活動に対する支援情報の提供など、公園ボランティア制度の充実を図ります。	街区公園等の維持管理	都市建設部	道路公園課	公園グループ	★継続	公園ボランティア制度 ・概要 公園の美化及び清掃等を市民自らが主体的にボランティアで行う。個人・団体に福生市が支援する。 ・活動内容 ごみの収集、除草、樹木・花壇の維持管理、情報提供等 ・実施場所 市内公園・児童遊園 ・登録人数 389人、12団体（平成29年3月末現在）	・活動内容 ごみの収集、除草、樹木・花壇の維持管理、情報提供等 ・実施場所 市内公園・児童遊園 ・登録人数 389人、12団体（平成29年3月末現在） ※ホームページに活動状況を定期的に掲載し、周知に努め、充実を図ります。	B	129,542	土木費	土木管理費	土木総務費	公園管理事務	市と市民の協働によって緑と水の質が高められている場所	43か所（H25）	49か所（H35）	38ヶ所	②	
18	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	24	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などにおける萌芽更新など自然再生の取り組みを推進します。従来の植生に配慮し、その場所に適した手法による保全を進めます。行政、市民ボランティア、委託事業者の役割と作業分担を明確にし、効果的な取組を進めます。	自然再生事業の展開	都市建設部	道路公園課	公園グループ	★継続	自然再生の取組み ・実施場所 文化の森（福生公園）、加美上水公園、みずくらいど公園 ・方法 ボランティア団体による清掃、下草刈り、樹木剪定、落葉掃き等の保全活動を行っている。 ・回数 月1～2回 ・実施団体 福生萌芽会、福生加美上水公園自然塾、水喰土ボランティア ※福生市はこれらの団体に支援し、市民ボランティアと役割分担を明確にし、効果的な取組を進めます。	・福生萌芽会：文化の森（福生公園）にて実施 年12回（平均12名） ・福生加美上水公園自然塾：加美上水公園にて実施 年32回（平均9人） ・水喰土ボランティア：みずくらいど公園にて実施 月1回（平均8人） ※ただし、月1回の活動の他に、花いっぱい運動や落葉掃きなど随時の活動もあり。	A	129,542	土木費	土木管理費	土木総務費	公園管理事務	市域に占める利用できる水と緑の割合	10.3%（約106ha）（H25）	10.9%（約112ha）（H35）	10.3%（約106ha）	①	
19	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	24	東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画に基づき、アライグマとハクビシンの捕獲防除を行い、生態系の保全、農業被害の予防を図ります。また、市民と協働した防除活動のあり方について検討を行います。	外来生物防除委託	生活環境部	環境課	環境係	★継続	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載を行うとともに、委託によりアライグマ、ハクビシンの捕獲防除を行う。	神社、仏閣、蔵、木造住宅の屋根裏等に住みつくアライグマやハクビシンなどの外来性動物の捕獲防除を中心に行い、生態系の保全、農業被害などの防止に努めた。罠は5箇所10基を設置。 捕獲実績：アライグマ8匹、ハクビシン4匹 目撃情報：アライグマ0件、ハクビシン15件	A	788,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務						
20	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	4つの自然軸の保全	24	地域猫の会の取り組みを拡大し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を推進するとともに、飼い主のモラル向上を働きかけます。	地域猫去勢・不妊手術助成金	生活環境部	環境課	環境係	★継続	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を行い、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。福生地域猫の会定例会等で情報共有を図り、地域猫の取り組みが拡大するよう地域猫制度等のPRに努めるとともに、飼い主のモラルの向上を働きかける。	団体に去勢・不妊手術費の助成を行った。オス39頭、メス54頭 計93頭 手術申請件数の増により、オス1頭、メス6頭分計79,000円を流用対応した。市民団体と協力し地域猫制度等のPRに努めるとともに、飼い主のモラル向上を働きかけた。福生地域ネコの会が行った、学童クラブ及びふっさっ子の広場（14箇所）へ出向いての動物愛護の啓発活動をコーディネートした。	A	864,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務						

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価	
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値		
21	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	まちづくり景観推進連絡会などの推進体制により、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用を進めます。	景観まちづくり事業の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★	継続	まちづくり景観推進連絡会を毎月開催することにより、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用について検討を進める。	まちづくり景観推進連絡会を年間14回開催し、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用について検討した。また、まちづくり景観推進連絡会主催でまちづくり景観フォーラムを1回開催し、平成28年度の活動報告や意見交換を行った。	A	129,032	土木費	都市計画費	都市計画費	都市景観事業	地区計画策定数	2件 (H25)	3件 (H31)	3件	①	
22	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	樹木診断や害虫駆除等の適切な管理を実施することにより、多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図ります。	多摩川堤防沿桜管理	都市建設部	道路公園課	公園グループ		継続	多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図る。方法 多摩川堤防沿桜管理委託により剪定等を行う ・実施時期 平成28年7月～平成29年3月 剪定75本、不要枝剪定162本	多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図るための措置を行った。ただし、腐朽して倒木の恐れがある桜については伐採した。 ・実施量 軽剪定63本、不要枝剪定162本、大枝切除1本、基本剪定11本 ・実施時期 平成28年6月～平成29年3月 支障枝1本、伐採4本、施肥1本	A	3,672,000	土木費	土木管理費	土木総務費	公園管理事務						
23	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	市民ボランティアガイドによる市内文化財ツアー等の実施により、市民等を対象とした学習機会を提供します。	市民ボランティア文化財ガイド事業	教育部	生涯学習推進課	文化財係	★	継続	市内文化財ガイドツアーの実施（年4回程度）	市内文化財ガイドツアー3回及び古民家団体見学ガイド複数回実施。	A	20,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業						
24	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②屋外広告物の規制	違反広告物撤去協力員制度を継続し、道路沿線の捨て看板、街中の貼り紙など景観を阻害する違反広告物の撤去を進めます。	違反広告物撤去協力員制度	都市建設部	道路公園課	管理グループ	★	継続	市内道路において、違反広告物撤去協力員に呼び掛け、10月に東京都と共同で、違反広告物共同除却を実施する。	違反広告物撤去協力員20団体128名違反広告物自体が年々少なくなってきており、東京都との違反広告物撤去共同除却は中止とした。	A	0										
25	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	町会・自治会による統一美化キャンペーンを継続するとともに、廃棄物減量等推進員の機能強化や道路美化ボランティア等との連携について検討し、ごみが捨てられにくい環境を維持します。	清潔で美しいまちの維持	生活環境部	環境課	ごみ対策係	★	継続	清潔で美しいまちづくり重点地区を見回り調査し、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。町会・自治会の一斉清掃を継続する。	清潔で美しいまちづくり事業委託にて市内清掃と条例周知を行った。週3回、4人で巡回。町会・自治会一斉清掃実施。参加人数1,526人。	A	5,215,929	衛生費	清掃費	清掃費	清潔で美しいまちづくり事業	福生らしい景観の保全に満足している市民の割合	43.0% (H26)	50% (H32)		⑤	
26	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図ります。	清潔で美しいまちの維持	都市建設部	道路公園課	管理グループ	★	継続	市内道路において、道路美化ボランティア団体に随時から年数回、道路清掃等を行ってもらう。道路美化ボランティア団体からの年度末の活動報告に基づき、道路清掃に必要な消耗品等の支給を行う。	道路美化ボランティア16団体352名	A	0										

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価	
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値		
27	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③清潔で美しいまちの維持	26	住民の福祉及び連帯意識を高め地域活性化につなげるため、町会・自治会が行う各種事業を支援します。	地域活性化交付金事業	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	★	継続	地域社会におけるコミュニティ組織である町会・自治会が行う各種事業に対し、交付金を交付する。	32団体 9,009,030円	A	9,009,030	総務費	総務管理費	協働推進費	町会等活動支援事務					
28	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水を活かしたまちづくり	①玉川上水沿いの遊歩道化	27	国指定史跡文化財「玉川上水」を市全体の歴史的環境・自然環境保全のシンボルとして捉え、景観推進連絡会及び玉川上水・熊川分水に関する市民団体と連携して散策コースの検討を進めます。	玉川上水沿いの遊歩道化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★	継続	玉川上水沿いをできるだけ活かした散策コースについて、市民団体と検討を進める。平成28年度は、「玉川上水の遊歩道を考える会」が作成予定のパフレットを市内の玉川上水沿いに設置することについて、手続き等の助言を行う。	散策コースについて、引き続き市民団体と検討している。また、「玉川上水の遊歩道を考える会」が作成したパフレットを市内の玉川上水沿いに設置することについて協力をした（2箇所）。	B	0									
29	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水を活かしたまちづくり	②散策路のネットワーク化	27	緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶことで、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。	散策路のネットワーク化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★	継続	玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶ散策ルートについて、市民団体と検討を進める。	散策ルートについて、引き続き市民団体と検討している。	B	0									
30	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水を活かしたまちづくり	②散策路のネットワーク化	27	緑の多い安心して歩ける道、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶことで、福生の自然・歴史に親しみながら市内に賑わいを生み出す散策ルートを検討し、発信します。	散策路のネットワーク化	生活環境部	シティセールス推進課	まちの魅力創造グループ		新規	多摩・島しょ地域への観光客の誘客促進を目的として、市内駅前8箇所を毎年順番に観光案内板を書き換えている。公園グループでも同様の散策ルートを策定しており、既存のルートと差別化を図りつつ、市内の和洋の文化を活かした散策ルートを構築していく。	多摩・島しょ地域への観光客の誘客促進を目的として、市内駅前8箇所を毎年順番に観光案内板を書き換えている。28年度については東福生駅東口の観光案内板の書替を実施した。	A	429,840	商工費	商工費	商工費	まちの魅力推進事業					
31	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水を活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	27	熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		継続	熊川分水の土地所有者より無償使用承諾を受け、市が管理改修を行う「熊川分水保全事業」を実施する。平成28年度は2箇所を目標とする。	熊川分水の土地所有者より無償使用承諾を受けた部分について、市が管理改修を行う「熊川分水保全事業」を実施し、協定を締結した（1件）。	B	280,800	土木費	都市計画費	都市計画費	都市景観事業	熊川分水の保全予定区間における協定締結数	2か所	6か所	3か所	②
32	潤い豊かな心でまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	玉川上水を活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	27	熊川分水の保存や水辺の環境整備、安全な歩行空間づくりのモデル的な取り組みを実施し、熊川分水の保全に努めます。	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	道路公園課	道路グループ		継続	熊川分水保全事業の実施状況に基づき、整備を検討する。	維持補修を実施した。（2箇所）	A	0									

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価		
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値			
33	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・まちづくり	安心できる道路・都市施設の整備	①バリアフリーの推進	28	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公共施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりを目指します。	バリアフリーの推進	福祉保健部	社会福祉課	庶務・福祉計画担当	継続	管理指標を念頭に、もくせい会館建築事業におけるバリアフリー化の推進を図る。	当該事業の関係課に対し、情報提供等を通じて、バリアフリーに対する意識啓発を行った。	A	0					公共施設のバリアフリー化率	5 / 16施設 (H25)	8 / 16施設 (H31)	6 / 16施設	①		
34	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・まちづくり	安心できる道路・都市施設の整備	②中心商業地区の安全化・快適化	28	商工会と連携した経営支援及び創業支援、商店街等で実施されるイベントの支援、商店街を含む回遊型観光の情報発信などを通じて、商店街の振興を図ります。	中心商業地区の安全化・快適化	生活環境部	シテール推進課	産業活性化グループ	★継続	コミュニティビジネスセミナーの実施（1セミナー）や立川・昭島・福生の三市連携で行う創業支援（セミナー15回）を行う中でコミュニティビジネスに相当する創業者に対し、補助を実施する。	コミュニティビジネスセミナーの実施（1セミナー6回講座：延べ35名）や立川・昭島・福生の三市連携で行う創業支援（セミナー15回）を実施し、創業に対する機運を高めるとともに創業スキルの向上を図った。コミュニティビジネスに相当する創業者に対する補助については平成28年度の新規希望者はなく、平成27年度補助決定者の継続補助のみとなった。	A	840,200	商工費	商工費	商工費	商工業振興事業（コミュニティビジネス支援事業補助金）	コミュニティビジネスの新規創業数（累計）	2件 (H26)	8件 (H32)	4件	②		
35	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・まちづくり	安心できる道路・都市施設の整備	③生活道路の安全化	28	地域や警察署と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、生活道路の安全化を推進します。	生活道路の安全化	都市建設部	道路公園課	道路グループ	継続	福生警察署と連携して通学路点検を実施し、信号機等の設置を検討する。	安全安心まちづくり課と調整して、熊川地内スーパーバリューに信号機設置、熊川地内五丁橋前交差点に歩行者用信号機設置、本町通りとわらつけ街道交差点隅切りに信号機移設を行った。	A	0					バリアフリー対応歩道の市道延長	6,788m (H25)	8,859m (H31)	8,698m	① ②		
36	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・まちづくり	安心できる道路・都市施設の整備	④耐震化の促進	29	耐震改修促進計画に基づき、市内の建物の耐震化を進めます。	市内の建物の耐震化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	昭和56年以前に建築された木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の費用の一部を助成する。平成28年度は耐震診断5件、耐震改修2件を目標とする。	昭和56年以前に建築された木造住宅1件に対し、耐震診断費用の一部を助成した。	C	97,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事業							
37	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・まちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	①住宅や事業所などの緑化	30	緑あふれる市街地形成のため、宅地開発等指導要綱に基づく事業者への指導を行うとともに、地区計画等による地域の緑化を促進します。	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為には、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき6件の協議を行い、うち該当する3件について、敷地の一部を緑化するよう指導を行った。	A	0					緑視率	約3% (H25)	約8% (H35)		⑤		
38	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・まちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	30	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。国や都の公共施設における積極的な緑化を要請します。	公共施設等の緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	継続	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。緑の基本計画に基づき保全に努める。	緑の基本計画に基づき保全に努めた。	A	0											
39	潤い豊かな心でまちの創造	安心して歩ける道・まちづくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	③生産緑地の保全・活用	30	農業振興計画に基づき、生産緑地など農地を保全するとともに、営農への意欲向上を図るなど都市農業への支援策を検討します。	農業委員事務	生活環境部	シテール推進課	産業活性化グループ	継続	くるみるふっさで地場産野菜等の直売を実施し、農業者の販路拡大とJA直売所のPRを図る。	くるみるふっさ、農業委員会、西多摩農協福生市店野菜部会により平成28年7月からくるみるふっさで毎月第3土曜に地場産野菜の直売を開始し、農業者の販路拡大と福生の農、JA直売所のPRを実施した。	A	3,708,000	農林水産業費	農業費	農業費	農業委員会事務（委員報酬）	市域における農地の減少率	年平均3% (H12-22)	年平均2% (H23-32)	年平均3.2% (H23-28)	②		

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価	
								部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値		
40	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道の緑づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	30	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	ふっさ花いっぱい運動委託	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	ふっさ花とみどりの会へ委託し、花いっぱい運動（春・秋の2回）に合わせた花植えやコンテストを行う。（コンテスト等一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う）	花と緑のあるまちづくりのため、ふっさ花とみどりの会へ委託し、花いっぱい運動を行い、コンテストを実施した。（春と秋に2回） ふっさ花とみどりの会の活動による花いっばいに満ちあふれたまちづくり事業を実施。（多摩川中央公園フラワーゾーン）	A	732,000 [36,856]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業						
41	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道の緑づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	30	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	花壇管理委託	生活環境部	環境課	環境係		継続	多摩川中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内、南田園二丁目の花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開する。	花や緑あふれるまちづくりを展開するため、花壇管理を行った。福生野球場植込み地管理工46㎡×6回、長徳寺段下花壇管理工70㎡×3回、100㎡×1回、多摩川中央公園花壇管理工405㎡×4回、南田園二丁目花壇管理工262㎡×2回	A	410,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業						
42	潤い豊かなまちの創造	安心して歩ける道の緑づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	31	花いっぱい運動など市民団体や町会・自治会による取り組みを支援するとともに、花苗の生産委託により市内農家の支援を継続します。	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		継続	花いっぱい運動にかかる町会等団体へ配布する草花苗を市内農業者により生産を行い農業振興、農業者支援を行う。	花いっぱい運動にかかる町会等団体へ配布する草花苗を市内農業者により生産を行い農業振興、農業者支援を行った。 （春：サルビア8,600株、ペチュニア8,700株、マリーゴールド18,400株 秋：パンジー・ビオラ各15,700株、葉ボタン7,700株）	A	7,556,900	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業（草花苗生産委託料）						
43	暮らし方・地球シテムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	①ごみを減らす生活の呼びかけ	31	ごみ問題や取り組み成果の情報を分かりやすく発信するとともに、ごみの発生抑制につながる消費行動や事業活動と呼びかけるため、市民の目に届く手法を工夫します。	ごみを減らす生活の呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係		継続	ごみの発生抑制のため、無駄なものは断る・買わないから始め、大切に使うこと、不要となった場合の有効利用を考慮した消費行動・事業活動、広報ふっさ、清掃日より等により呼びかける。	広報ふっさ（毎月15日号）にて、ごみ、資源収集情報を掲載。さらに、清掃日よりにてごみ減量を呼び掛けた。	A	774,876	衛生費	清掃費	清掃費	清掃事務	ごみ排出量（資源ごみを除く） （1人1日当たりごみ排出量）	16,277 t (760.9g)	15,000 t (H31) (728.7g)	16,026 t (748.7g)	②	
44	暮らし方・地球シテムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	②事業系一般廃棄物の減量	31	事業系一般廃棄物処理計画の指導や収集段階での直接指導により、事業者の排出責任に対する理解を深めます。拡大生産者責任に基づく事業者責任の強化・明確化など自治体に配慮した制度の着実な実施を関係機関に要請します。	事業系一般廃棄物の減量	生活環境部	環境課	ごみ対策係		継続	事業系一般廃棄物処理計画書の指導など事業活動に伴う一般廃棄物の効果的な排出抑制につながるレジ袋削減、簡易な包装などごみになるものの削減の工夫や減量を、事業所に対して呼びかける。また、拡大生産者責任に基づく事業者責任の強化・明確化を関係機関へ要請。	各事業所から事業系一般廃棄物処理計画書を提出していただくことにより、ごみ減量と資源化を呼び掛けた。また、拡大生産者責任の明確化と「EPR（生産者責任法）」の整備について国に要請されたい旨東京都市長会に継続要望した。	A	0										
45	暮らし方・地球シテムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	③ごみに関する学習機会の提供	31	ごみ問題の理解やごみを出さない暮らし方に関する継続的な学習を推進するため、副読本を作成し小学校での活用を推進します。	ごみに関する学習機会の提供	生活環境部	環境課	ごみ対策係		継続	小学生を対象とした環境教育の推進。小学校4年生の社会科学習に活用するため「ごみのゆくえ」を作成する。	社会科の授業の副読本として1小から7小へ445部配布した。	A	96,552	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対策事業						

No	環境基本計画体系				頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価	
								部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値		
46	暮らし変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	①分別による資源化	32	ごみの適切な資源化・処理が行われるように、排出時点での混入を防止するため分別・収集区分を明確化します。新たな資源化品目の追加について検討します。	分別による資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係		継続	ごみの適切な資源化・処理が行われるようにごみ分別の徹底及び資源化の検討。廃棄物減量監視事業の実施。	平成26年4月から全てのごみ・資源を自宅及び集積所から排出することにより、ごみの分別の徹底を図った。廃棄物減量監視事業を年4回実施。	A	63,628	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬事業	総資源化率	37.0%	42.0% (H31)	35.50%	③	
47	暮らし変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	②バイオマス資源化	32	剪定枝についてはリサイクルセンターにおける回収、資源化の周知に努め、リサイクルシステムの確立を目指します。生ごみについては福生市に適した活用方法について引き続き検討します。	バイオマス資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係		継続	生ごみの堆肥化や剪定枝の資源化に向けた収集・資源化等処理方法を研究し、有効利用されるよう努める。環境フェスティバルにおいて、コンポスト等の周知により、生ごみの堆肥化の啓発、生ごみ処理機器購入費補助。	市民から分別収集した剪定枝を資源化した。(18t) 生ごみ堆肥化容器を貸与した。(10基) 生ごみ処理機器購入費補助を実施した。(10件)	A	713,055 422,078	衛生費	清掃費	清掃費	中間処理事業 ごみ減量対策事業						
48	暮らし変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	③地域リサイクルシステムの強化	32	市民・事業者等による地域での再使用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努めます。	地域リサイクルシステムの強化	生活環境部	環境課	ごみ対策係		継続	資源回収実施団体報償金制度を継続し、地域リサイクルシステムを強化する。	資源回収実施団体に対し報償金を交付した。資源回収実施団体79団体、実施回数989回	A	14,950,503	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対策事業						
49	暮らし変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	③地域リサイクルシステムの強化	32	市民・事業者等による地域での再使用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努めます。	フリーマーケット	生活環境部	シテール推進課	産業活性化グループ	★	継続	市民団体等が実施するフリーマーケットの開催について広報・HPによる周知支援を行う。	市民団体が実施した各フリーマーケット（フレンドシップパークフリーマーケット、熊川フリーマーケット）の開催について広報（3回）・HPによる周知を行った。	A	0										
50	暮らし変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	④適正な中間処理、最終処分の推進	32	エコセメント化など、最終処分場の延命化を進めるとともに、有害ごみ等の処分の適正さを確保する監査に努めます。また、焼却処分を行っている尿処理について、今後堆肥化を検討していきます。	適正な中間処理・最終処分の推進	生活環境部	環境課	ごみ対策係		継続	埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討。	埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討を図った。	A	0										

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
51	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	①地球温暖化対策の枠組みの明確化	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行います。また、市有施設の温室効果ガス排出量は、市地球温暖化対策実行計画に基づき、進捗管理を行います。エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行います。	生活環境部	環境課	環境係	継続	市域の温室効果ガス排出量は、オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し進捗管理を行う。また、「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」に基づき進捗管理を行う。	オール東京62市区町村共同事業が公表する最新の推計データを利用し、市域の温室効果ガスの進捗管理を、「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市有施設の温室効果ガス排出量の進捗管理を実施した。	A	0						市民一人当たりのCO2排出量（横田基地分を除く民生家庭部門）	1,189kg-CO2 (H24)	784kg-CO2	1,153kg-CO2	②
52	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	①地球温暖化対策の枠組みの明確化	福生市環境マネジメントシステム（F-e）	生活環境部	環境課	環境係	★継続	福生市環境マネジメントシステム（F-e）により地球温暖化対策を進める。（「F-e」は平成20年度から運用するLAS-Eを土台とした市民と協働したマネジメントシステム。）福生市環境マネジメントシステム（F-e）の効果的な運用のために、市民監査委員とともにシステムの見直しを随時図っていく。	市民監査委員を含む監査チームによる本監査（平成29年1月31日から2月2日）の他、環境推進委員会（3回）、目標設定チーム会議（1回）、環境マネージャー会議（2回）、監査チーム会議（3回）の各種会議を実施し、地球温暖化対策の推進を図った。F-e研修として新人研修会（1回）、全職員対象の職員研修会（2日間、全8回）、監査直前説明会を実施。市民監査委員：11名	A	774,800	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	市有施設の温室効果ガス排出量（市地球温暖化対策実行計画）	3,967,567kg-CO2 (H26)	4,190,723kg-CO2	4,050,184kg-CO2	②	
53	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	みどりのカーテン大作戦	生活環境部	環境課	環境係	★継続	みどりのカーテンを推奨、促進するため、ゴーヤの苗の配布、講習会等を実施し、みどりのカーテンの普及に努める。（福生スクラムマイナス50%協議会事業）	ふっさ環境フェスティバルでゴーヤの苗配布（800ポット）及びみどりのカーテン講習会を実施し、市民のみどりのカーテンへの取組みを支援した。みどりのカーテンコンテスト表彰式を11月10日実施、13組応募。	A	[140,067]										
54	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	福生まちなか涼み処、福生まちなか温み処	生活環境部	環境課	環境係	継続	家庭での節電を奨励するとともに、公共施設において市民が涼み（温まり）、交流できるスペースを確保し、市民の利用を促す。各施設は、市民が気軽に、気兼ねなく過ごせる工夫をする。公共施設10箇所実施予定。	家庭での節電対策として、夏季は「福生まちなか涼み処」、冬季は「福生まちなか温み処」を公共施設10箇所実施した。	A	0										
55	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	家庭の省エネルギー情報発信	生活環境部	環境課	環境係	★新規	家庭のCO2削減啓発事業として、市民向けの啓発パンフレットを作成し、12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて啓発活動を行う。	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて12月3日（土）に家庭の省エネセミナーを実施。12月14日（水）には、市役所ロビーにて地球温暖化防止キャンペーンを実施。展示や環境クイズ、省エネパンフレットを配布した。ふっさ環境市民会議と協働で実施。	A	[124,200]										
56	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	②省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	子ども家庭部	子ども育成課	子ども育成係	継続	児童館において、みどりのカーテンの実施などを行い、緑化を推進する。	みどりのカーテンの実施、花いっぱい運動コンテストへの参加及び農業体験事業の実施により、緑化を推進した。	A	0										

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
57	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	34	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	総務部	契約管財課	管財係		新規	建設中のもくせい会館は、太陽光発電設備を設置し1時間当たり5kwの発電を行い、再生可能エネルギーへの転換を推進する。また、LED電灯や人感センサーの照明を使用することにより、消費電力の抑制を図ることや植栽をすることによる緑化を進め、地球温暖化対策を図る。	もくせい会館について、地球温暖化対策を考慮した建設を行った。	A	202,656,569	総務費	総務管理費	一般管理費	もくせい会館建設事業					
58	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	35	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	子ども家庭部	子ども家庭支援課	子ども家庭支援センター		新規	平成28年度に市民が利用するふれあいひろばや地域活動室などの改修工事の際、照明器具についてLED化を図る。	平成28年度に市民が利用するふれあいひろばや地域活動室などの改修工事の際、照明器具について全てLED化を図った。予定していた工事は100%完了した。	A	2,774,520円	民生費	児童福祉費	子ども家庭支援費	子育てひろば事業					
59	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	35	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	都市建設部	施設課	建築グループ		継続	平成27年度から継続して実施されている防災食育センター整備工事において、ガスコーゼネレーションシステム、LED照明を新設する。	平成27年度から29年度債務負担行為として29年度の供用開始を目指して、事業を進めており、平成28年度については計画通り工事が進捗している。	A	1,599,800,000	消防費	消防費	防災対策費	防災食育センター整備事業費					
60	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	36	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	都市建設部	施設課	建築グループ		継続	学校体育館非構造部材落下防止対策事業 体育館照明器具のLED化 対象校：4小、5小、2中、3中	・学校体育館非構造部材落下防止対策事業 体育館照明器具のLED化 対象校：4小 24台 5小 24台 2中 39台 3中 25台	A	33,588,000	教育費	小学校費 中学校費	学校施設費	体育館非構造部材落下防止対策事業					
61	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	37	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	教育部	教育総務課	学校施設係		継続	27年度から継続して実施されてきた体育館非構造部材落下防止対策事業において、体育館照明のLED化の実施。28年度は、第四小学校、第五小学校、第二中学校、第三中学校の計4校を実施予定。	28年度は、第四小学校、第五小学校、第二中学校、第三中学校の計4校を実施済。	A	339,375,199	教育費	小学校費 中学校費	学校施設費	小学校体育館非構造部材落下防止対策事業					
62	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	33	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換	教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進係		新規	市内テニスコート照明器具のLED化を行う。長寿化を図るとともに省エネルギーの促進を図るための工事を2か年で計画・実施する。なお状態の悪い（設置年数の古い）武蔵野台テニスコート、市営競技場テニスコートの順に行うもの。	平成28年度は老朽化がより進行していた武蔵野台テニスコートの照明器具LED化を実施し、以前よりも明るくなったことから、利用者からの評判はよい。CO2削減量、電気料金の削減効果は様子を見ていく。	A	30,780,000	教育費	保健体育費	スポーツ推進費	テニスコート管理事務					
63	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	34	地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化を推進します。福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針の徹底を図り、公共施設の新築、大規模改修、設備更新時における省エネルギー（雨水利用を含む）、再生可能エネルギーへの転換を進め、実施状況の把握を行います。市民、事業者における省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換を支援するため、継続的な情報提供やみどりのカーテンコンテスト等のキャンペーン展開に努めます。	省エネルギーの普及	総務部	契約管財課	管財係		継続	環境に配慮したハイブリッド車への買替えを予定している。	平成28年度中に環境に配慮したハイブリッド車を1台購入した。今後も引き続き環境配慮した公用車の購入に努める。	A	4,790,000	総務費	総務管理費	一般管理費	車両管理事務					

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
64	暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合	地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み	地球温 暖化 対策 への 取り 組み	③省エ ネカ ーの 普 及	34	電気自動車 の普及 促進の ため、 電気自 動車用 急速充 電器利 用サー ビスを 周知し 、利用 者の拡 大を図 ります。	電気自 動車用 急速充 電器保 守委託	生活環 境部	環境課	環境係	継続	電気自動車 の普及・ 促進の ため、電 気自動 車用急 速充電 器を24 時間利 用可能 なサー ビスを 提供す る。	電気自動車 用急速充 電器を24 時間一般 開放し、 地球温 暖化対 策とし て電気 自動車 の普及 を目的 として 運用を 図った。 利用回 数：45 回	A	270,000	衛生費	保健衛 生費	環境保 全費	環境政 策事務					
65	暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合	地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み	地球温 暖化 対策 への 取り 組み	④自転 車の まち づく り	34	自動車 依存か ら自転 車使用 の促進 を目指 し、自 転車の まちづ くり に取 り組 みます。	自転 車の まち づく り	都市建 設部	まちづ くり計 画課	計画 グル ープ	継続	都市計画 マスター プラン に基 いて、 検討を 進める。 平成28 年は、 東福生 駅に自 転車駐 輪場を 新たに 開設す る。	東福生駅 に新た に自転 車駐輪 場を開 設した。	A	1,184,920	総務費	総務管 理費	地域安 全対策 費	自転 車等 駐車 場管 理事 務					
66	暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合	地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み	地球温 暖化 対策 への 取り 組み	④自転 車の まち づく り	34	自動車 依存か ら自転 車使用 の促進 を目指 し、自 転車の まちづ くり に取 り組 みます。	自転 車の まち づく り	都市建 設部	道路公 園課	管理 グル ープ	継続	警察と協 議し、 自転 車ナビ マーク の設置 を推進 して いく。	市道幹線 Ⅱ-18号 線、市 道幹線 Ⅱ-20 号線、 市道幹 線Ⅱ- 19号 線、市 道幹線 Ⅱ-2 号線に 設置 した。	A	0									
67	暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合	地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み	地球温 暖化 対策 への 取り 組み	④自転 車の まち づく り	34	自動車 依存か ら自転 車使用 の促進 を目指 し、自 転車の まちづ くり に取 り組 みます。	サイ クル シェア リング 事業	生活環 境部	環境課	環境係	継続	くるみ る ふっ さを 軸とし た「ま ちなか もて なし 事業」 とし てサイ クル シェア リング の運 営を 継続 する。 ※予 算は環 境課 所管 分の サイ クル シェア リング 委託 料（ま ちな かお もて なし 事業 は委 託に よ り実 施し 、シ ー セル 以 推 進 課 と環 境 課 の 共 同 事 業）	サイ クル シェア リング （たっ けー ☆☆ サイ クル） を 実 施。 貸出 返却 拠 点：5 箇所 （く るみ るふ っさ 、福 生駅 西 口、 牛浜 駅東 口、 拜島 駅北 口、 福祉 セン ター） 、会 員：6 51名 、シ ェア リン グ利 用：3 ,226 回、 一時 利用 ：14 4回	A	5,735,160	衛生費	保健衛 生費	環境保 全費	環境政 策事務					
68	暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合	地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み	地球温 暖化 対策 への 取り 組み	④自転 車の まち づく り	34	自転 車を 安心 して 快適 に利 用で きる まち づく りを 目指 し、 放置 自転 車対 策に 取 り組 みま す。都 と連 動し た駅 前放 置自 転車 クリ ン カン ペー ンや 商 店街 への 協力 要請 、市 内の 放置 自転 車集 中箇 所 にお ける 情報 収集 等 を進 め ま す。	駅前 放 置自 転 車 ク リ ン カ ン ペ ー ン	総務部	安全 まち づく り 課	地域 安全 係	継続	年3回 春、 秋、 冬に 実施。 （福 生駅 、牛 浜 駅、 拜島 駅）	4月11 日 牛 浜 駅 4月12 日 拜 島 駅 7月11 日 東 福 生 駅 10月25 日 福 生 駅 で 実 施	A	0									
69	暮らし 方の変 革・地 球シ テム への 適合	地球環 境問 題・公 害等 への 取り 組み	地球温 暖化 対策 への 取り 組み	④自転 車の まち づく り	34	自転 車を 安心 して 快適 に利 用で きる まち づく りを 目指 し、 放置 自転 車対 策に 取 り組 みま す。都 と連 動し た駅 前放 置自 転車 ク リ ン カ ン ペ ー ンや 商 店街 への 協力 要請 、市 内の 放置 自転 車集 中箇 所 にお ける 情報 収集 等 を進 め ま す。	放置 自 転 車 等 対 策 関 係 委 託	総務部	安全 まち づく り 課	地域 安全 係	継続	通年 にお いて 、指 導、 撤去 、保 管業 務を 委託 。	指 導 1,985 台 撤去 747 台 返還 498 台	A	14,852,941	総務費	総務管 理費	地域安 全対策 費	放置 自 転 車 対 策 事 務					

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価			
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値				
70	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自転車を安心して快適に利用できるまちづくりを目指し、放置自転車対策に取り組みます。都と連動した駅前放置自転車クリーンキャンペーンや商店街への協力要請、市内の放置自転車集中箇所における情報収集等を進めます。	自転車のまちづくり	都市建設部	道路公園課	管理グループ	継続	道路上の通行に支障となり、放置された自転車について、道路法に基づき、随時撤去を行う。	駅周辺300mを除く地域の放置自転車63台を回収した。	A	0												
71	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	34	自転車の安全な利用と自転車のまちづくりについて利用者の視点から考えるきっかけづくりのため、主に児童生徒を対象に学習機会を提供します。	自転車の安全教室	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係	継続	中学校において、スタントマンが事故現場を再現する交通安全教室を実施する。なお、28年度においては、第二中学校において実施予定。	中学生交通安全教室 6月11日 福生第二中学校で実施	A	257,040	総務費	総務管理費	地域安全対策費	交通安全対策事務								
72	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	⑤公共交通の利用促進	34	鉄道・バスの利便性向上に向けた働きかけを継続し、公共交通の利用促進を目指します。	公共交通の利用促進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続	JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じて要請する。	JRへの要望活動（4回）※決算額は関係する協議会等負担金	A	63,000	総務費	総務管理費	企画調整費	渉外事務								
73	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	⑥気候変動への適応	34	国の気候変動適応計画の策定動向を踏まえ、気候変動適応策の検討に向けた情報収集を行います。	気候変動への適応	生活環境部	環境課	環境係	新規	国や都の気候変動に関する情報の収集に努める。	国や都をはじめ、気候変動に関する情報収集に努めた。	A	0												
74	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	各種苦情処理	生活環境部	環境課	環境係	継続	騒音、振動、悪臭などの原因元への指導、生活公害の防止を行い、各種苦情処理について丁寧かつ適切に対応していく。	市民からの苦情について、現場対応を含め迅速に丁寧に対応した。（147件）	A	0					環境基準達成率	別掲	別掲	別掲	②			
75	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	各種分析委託（公害）	生活環境部	環境課	環境係	継続	多摩川及び下水道（雨水管）で定期的な測定調査・分析を実施する（年8回8箇所）、浮遊粉じん等採取用の機材の設置を行い、3日間計測の後に分析を行う、燃料油（イオウ分）3検体について油中の硫黄の含有量を分析する、大気汚染調査（二酸化窒素）12検体の分析をする、工場排水1ヶ所において排水基準等項目の分析を行う、地下水汚染調査で市内10ヶ所について環境項目等項目の分析を行う、横田基地より流入している雨水管3ヶ所について環境項目・健康項目等項目の分析を行う。	福生市環境基本条例第8条第1号に基づき、市内における公害の防止のため、各種調査を行った。 ・大気汚染調査 浮遊粒子状物質及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量（市内4箇所）、燃料に含まれるイオウ分（3事業所）、二酸化窒素（市内12地点） ・水質調査 河川及び下水道（雨水管）（8箇所年8回）、地下水（市内10箇所）、工場排水（1箇所）、雨水管（横田基地流入分3箇所）	A	1,848,960	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業								

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
76	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	航空機騒音測定器保守委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	横田基地における航空機騒音を測定するために、年2回、正常に測定できているか点検を委託する（市役所屋上・誘導灯付近）。	市役所屋上・誘導灯付近の航空機騒音測定器の点検を2回実施し、正常に作動していることを確認した。	A	340,200	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業					
77	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	自動車騒音調査等委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	(常時監視)：市内でセンサス区間に指定されている幹線道路20箇所(1箇所は毎年)の自動車騒音調査を5箇年以内に行う。環境省に提出する自動車交通騒音対策の資料とする。 (要請限度)：「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理し、騒音調査について3日間、振動調査・交通量調査について1日間の自動車騒音調査を5箇所で行った。 (要請限度)：5箇所 自動車騒音調査(常時監視)：5箇所 自動車騒音調査(要請限度)：5箇所	騒音規制法第18条に基づき、市内でセンサス区間に指定されている幹線道路の自動車騒音調査を5箇所行った。(常時監視)「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理し、騒音調査について3日間、振動調査・交通量調査について1日間の自動車騒音調査を5箇所で行った。 (要請限度)	A	1,803,600	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業					
78	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	35	各環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とするとともに、原因者への指導の徹底、市民・事業者への啓発を行います。また、横田基地における騒音被害を低減する要請を継続します。	横田基地航空機騒音対策推進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続	市議会、横田基地周辺市町及び東京都と連携を取りながら、国及び米軍に対し航空機騒音対策を要請する。	国及び米軍への要請(45回)※決算額は関係する協議会等負担金	A	193,000	総務費	総務管理費	企画調整費	渉外事務					
79	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	35	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組みます。	東京都環境・公害事務連絡協議会	生活環境部	環境課	環境係	継続	26市で構成する東京都環境・公害事務連絡協議会への参加し、近隣市との連絡調整・情報共有等を行い、有害物質の拡散防止に取り組む。協議会6回、研修会等3回。	協議会6回、研修会2回に参加。環境に関する法改正や新たな環境問題の対応について、東京都や他市と有用な情報交換ができた。	A	3,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策事業					
80	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	35	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集を行い、中小事業者や一般家庭向けに分かりやすい注意喚起を行い、市全体で有害物質の拡散防止に取り組みます。	有害化学物質対策の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続	都環境確保条例に基づき事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集・提供、拡散防止に取り組む。	市内のアスベストやその他有害化学物質等の公害防止を進めるための速やかな情報収集・情報提供・報告等を行った。	A	0									
81	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			36	学校での環境教育を充実するため、環境教育を支援する体制の整備を継続します。	環境学習教員研修	生活環境部	環境課	環境係	継続	教員1年目(初任者)、2年目の教員及び環境教育に関心のある小・中学校教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習教員研修を実施する。	環境学習教員研修を2回実施。第1回「フィールドで学ぶ」、第2回「福生の自然の変遷 参加者 26人	A	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業					

No	環境基本計画体系			頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
							部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	
82	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進		36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します。	理科支援員の配置	教育部	教育指導課	指導係		継続	小・中学校の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う理科支援員を配置する。 〔配置対象学年〕 小学校（5・6年）、中学校（全学年）	理科支援員活動時間：1025時間	A	1,045,500	教育費	教育総務費	教育指導管理費	理数教育推進事業					
83	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進		36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します。	学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係		継続	小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」（環境課作成）を活用。 各学校で総合的な学習の時間等において、環境教育に係る取組を実施する。	・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用 ・総合的な学習の時間等に学習活動市民講師を活用（活動回数12回）	A	0									
84	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進		36	学習指導要領に基づく環境教育とあわせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取り組みを支援します。	学習指導市民講師による指導	教育部	教育指導課	指導係		継続	学習指導市民講師（NPO法人自然環境アカデミー等）による指導を実施する。	学習活動市民講師活動回数：12回	A	36,000	教育費	教育総務費	教育指導管理費	教育指導事務					
85	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進		36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	ふっさ環境フェスティバル	生活環境部	環境課	環境係		★継続	環境問題に対する市民の認識を深め、意識の醸成を図ることを目的に、環境月間である6月に「第14回ふっさ環境フェスティバル」を開催する。市民や事業者により組織されたふっさ環境フェスティバル実行委員会により企画・運営を行う。	第14回ふっさ環境フェスティバルを6月5日に開催。学童クラブけん玉ショー、東京農工大学エコレンジャーショー、わくわくほうせい化学実験ショー、時代組婆沙羅-BASARA-パフォーマンスショー、スタンプラリー、リユース食器使用によるフードブース出展、ダンボール迷路ほか。 参加団体：47団体 来場者：4,630人	A	1500,000 [692,877]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業					
86	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進		36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	福生市の環境	生活環境部	環境課	環境係		継続	環境に関する各種モニタリング情報を収集し、計画の進捗状況を公表するため、「福生市の環境」を発行し、ホームページへ掲載する。	福生市環境白書『福生市の環境平成27年度版』を発行し、ホームページへ掲載。	A	71,971	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事業					
87	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進		36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	「かんきょう通信」	生活環境部	環境課	環境係		★継続	環境に関する情報等を発信するため、市民編集員と協働し「かんきょう通信」を発行する。 かんきょう通信の発行（年2回）	かんきょう通信を年2回発行（5月第40号・2月第41号）。 かんきょう通信編集会議を各3回開催。	A	452,587	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務					
88	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進		36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	環境学習講座	生活環境部	環境課	環境係		★継続	エネルギーの枯渇や地球環境への悪影響といった問題が指摘され、家庭部門で排出する二酸化炭素（CO2）は、増加傾向にあるため、楽しく賢くできる家庭の省エネについて、環境学習講座を市民講師により行う。（福生スクラムマイナス50%協議会事業）	市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全2回の環境学習講座「楽しくかしくく家庭の省エネ」を実施した。参加者21人	A	[6,000]									
89	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進		36	福生市の自然の状況やごみの問題、地球環境問題などについて知り、行動のきっかけを作る情報発信を進めます。	市民環境大学「ふっさECOカフェ」	生活環境部	環境課	環境係		継続	「ふっさECOカフェ」と称した畑での農作業体験型講座を実施し、環境学習リーダー育成のための環境学習を推進する。	畑での農作業を通して、環境問題や環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考えるきっかけとして全6回実施。延参加者156人	A	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業					
90	環境教育・学習の推進	②地域における環境学習の推進		36	子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	夏休み子ども見学会	教育部	生涯学習推進課	文化財係		継続	夏休み子ども見学会を実施する（葛西臨海水族園等1回）。	夏休み子ども見学会（葛西臨海水族園）1回実施	A	9,480	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業					

No	環境基本計画体系	頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価	
					部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値		
91	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進			子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館	★	継続	熊川分水たんけん隊 1コース1回 ※前期計画で戦略プロジェクトに位置づいていた事業をこちらに落とし込みました。	子ども・親子を対象に片倉跡地の熊川分水を探検し、分水の成り立ちや自然について考えた。 実施場所：片倉跡地（森田製糸跡地） 1コース1回 参加者16人	A	41,776	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業					
92	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進			子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	青少年を対象とした体験・学習機会の拡充	教育部	公民館	公民館	★	継続	ジュニア自然体験教室 11回 ①キャンププログラムの企画を参加者が主体的に行う。②キャンプ後も定期的に活動し関係を深めながら年間を通じた学習活動を行う	・キャンプ事前学習4回実施（計8時間）。延べ73人参加。キャンプの活動内容、食事メニューなどの役割分担を自主的に話し合い決めていった。 ・キャンプ2泊3日（延べ56時間）奥多摩湖畔山のふるさと村で実施。延べ66人参加。事前に決めた内容を中心に具現化していった。 ・キャンプ保護者報告会1回実施。50人参加。事業の報告と理解を深めるため参加者の保護者を招待し、班ごとの発表や昼食会を行った。 ・野外実習2回実施（計10時間）。延べ24人参加。学習と参加者のつながりの継続のため、キャンプ実施後も集まる機会を設けた。	A	297,800	教育費	社会教育費	公民館費	公民館本館運営事業					
93	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進			子どもや親子を対象に、市内外のフィールドにおける学習機会を提供します。	わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係		継続	自然観察会の開催（年2回予定）	自然観察会2回実施	A	40,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業					
94	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進			大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を展開します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	松林分館	★	継続	まちづくり講座の中の一コマとして、座学のほかにフィールドワークを実施し、環境の視点からの学習を実施。	シュロの葉を利用して作品を作り、作り方を主催のイベント等で教えた。また、小学生向けに草笛を吹く講座を実施した。合計4回実施36名参加。	A	15,000	教育費	社会教育費	公民館費	松林会館運営事業					
95	環境教育・学習の推進 ②地域における環境学習の推進			大人の学習意欲を引き出し、楽しみながら学び行動できるきっかけとなるような講座や企画、展示を展開します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館	★	継続	熊川分水に親しむ講座 1コース4回 ※前期計画で戦略プロジェクトに位置づいていた事業をこちらに落とし込みました。	熊川分水の歴史や地域の人々との関わり、今後の保全と活用を考えた。 熊川分水とは何かをまず参加者に知ってもらうことに重点を置き。歴史と自然から熊川分水を学び、最終日にフィールドワークを行い、実際に熊川分水を見ることにより市民が保全について考えるきっかけとなった。 1コース4回 延べ参加者40人	A	55,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業					
96	環境教育・学習の推進 ③環境学習を支える人材の確保			環境学習講座等の中で環境保全活動の実践や講師となりうる人材を育成するとともに、すでに活躍している人材のネットワークを整理する、環境学習を支える人材の継続的な確保を図ります。	環境学習を支える人材の確保	生活環境部	環境課	環境係	★	継続	市民環境大学や環境学習講座等を通じ、環境マネジメントシステム市民監査委員等、環境に関する人材の発掘をする。また、環境に関する市民団体と連携し、情報共有と共に人材の確保を図る。	福生市環境基本計画等改定市民会議を核とした「ふっさ環境市民会議」が発足し、環境学習を支える人材のネットワーク化が進んだ。	A	0									

No	環境基本計画体系	頁	5年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	区分	年度計画（実施場所、方法、回数、関係先）	年度実施内容	実施評価	決算額（円）	会計区分				管理指標				指標評価
					部	課	係							款	項	目	中事業	指標	基準値	目標値	28年度数値	

管理指標		現況 (H26)	実績 (H28)	担当課	目標値 (H32) 100%
環境基準達成率	大気	燃料中硫黄分	100.00%	100.00%	環境課
		二酸化窒素	100.00%	100.00%	
	水	地下水	96.70%	97.30%	
		工場排水	95.50%	90.90%	
	騒音	航空機騒音	50.00%	50.00%	
		主要な道路騒音	82.60%	84.80%	
					100%